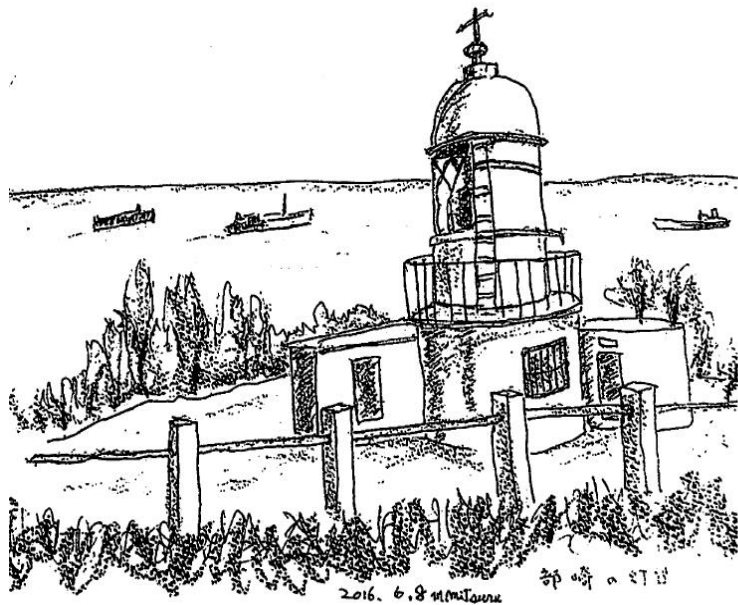


週報2022年12月4日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年12月4日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：大熊兄 献身の祈り：阪本姉 メッセージ：力丸嗣夫師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 69「エサイの根より」	
祈 禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
賛美	新聖歌 202「一度死にしわれも」	
献身の祈り		阪本姉
賛美	新聖歌 216「ここに真の愛あり」	
賛美	コーラス 274「この日は主が造られた」	
聖書箇所	マタイの福音書 1章 1-7 イザヤ書 9章 2節	
メッセージ	《罪(暗黒)の世界の夜明け》	
祈 禱	「応答の祈り」	
聖 餐 式	奉仕者：吉田兄・石田兄・吉武姉・小松姉	
頌 栄 祈 禱	「主の祈り」	力丸嗣夫 師

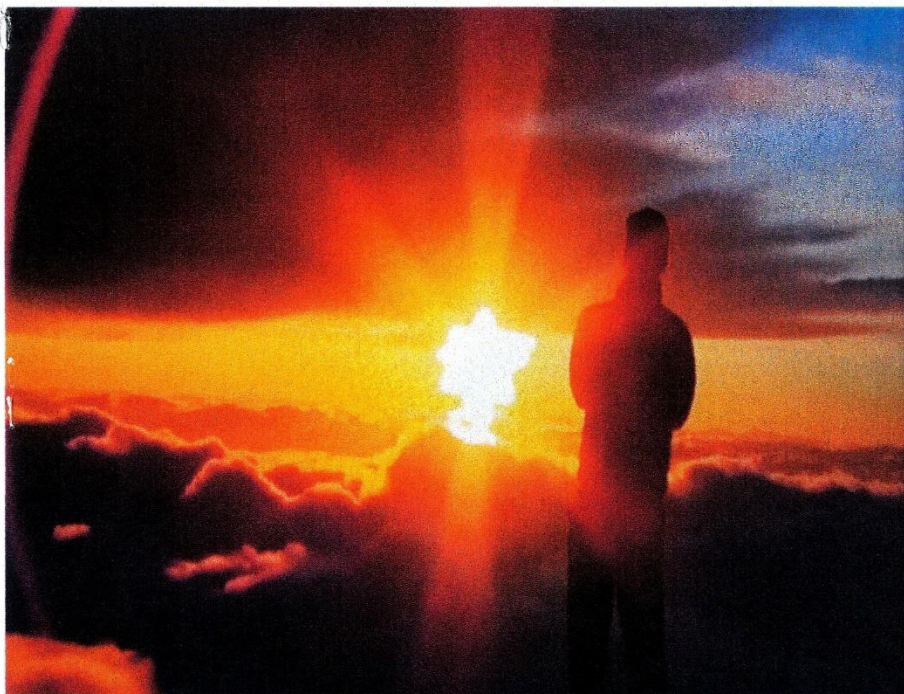
交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈り合っていますか

『罪の(暗黒の)世界の夜明け』

マタイ福音書:1章1節~7節・18節

イザヤ書9章2節



救い主イエス・キリストのご降誕は、夜の暗闇を破って、新しい創造世界を照らすいのちの光として、到来する、朝日のようないのちの輝きに満ちている。

交わり	①	互いに愛し合っていますか。
の	②	互いに赦しあっていますか。
三省	③	互いに祈りあっていますか。

マタイ福音書:1章1節~6節・18節

- 1節: アブラハムの子孫、ダビデの子孫、イエス・キリストの系図。
2節: アブラハムにイサクが生まれ、イサクにヤコブが生まれ、ヤコブにユダとその兄弟たちが生まれ、
3節: ユダに、タマルによってパレスとザラが生まれ、パレスにエスロンが生まれ、エスロンにアラムが生まれ、
4節: アラムにアミナダブが生まれ、アミナダムにナアソンが生まれ、ナアソンにサルモンが生まれ、
5節: サルモンにラハブによってボアズが生まれ、ボアズにルツによってオベデが生まれ、オベデにエッサイが生まれ、
6節: エッサイにダビデ王が生まれ、
7節: ダビデにウリヤの妻によって、ソロモンが生まれ
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
18節: イエス・キリストの誕生は次(こ)のよう(な次第)であった。
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

イザヤ書:9章2節

2節: やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。 死の陰の地に住んでいた者たちの上に、光が照った。

【アドベント】

先週 11月27日から、教会暦で“アドベント”と言う、意味深い時をイエス・キリストのご降誕を、思い巡らしながら、過ごす時がやってきました。“アドベント”とは、“到来”と言う意味を持っていますが、日本では、メシヤの到来“顕現=出現=降誕”の実現を意味する…“この待ち望んでいた時を、一日刻みで、深く感謝を表しつつ、待つ“待降節”として、味わい深く祈りながら待ち望む日々としているのです。

この日は、人間が主なる神の愛に背いて、このお方から離反したその日から、主なる神は最初の完全な創造への回復を願われて、ご計画になられた、創造の完成に向けてご計画になられた日なのです。この(救いの)御計画は、こうして予定され、多くの予言者たちによって、あらかじめ語り続けられてきました。それは決して、ユダヤ民族の為だけのものではなく、神が創造された全ての人に届けられる、主なる神の永遠の御計画なのです。

主のご降誕(救いの御計画の最終段階の始まり)を思い、新たに神の愛と御計画の完成を望み見ながら、これからの時を感謝の日々といたしましょう。

サタンの介入と、神の御計画

《 サタンの介入 四題 》

- ① 3節：ユダに、タマルによって…
ユダ(イサクの4男)の、嫁との確執から生じた大失敗！
創世記 38 章 1 節～26 節
- ② 5節：サルモンにラハブによってボアズが生まれ…
サルモンは、出エジプト時代に、カナンに突入する最初の難関、ヨルダン川の渡河を完了した後の出来事です。
最初の難関エリコ(当時近隣諸国の中で覇権を持っていた大都市国家)の攻略にあたって、ヨシュアは、斥候(スパイ)を町に潜入させその一人が追跡されて、かくまわれたのが、ラハブの家だったのです。彼女は、遊女で、街の中には住めないのも、街を取り囲む城壁の上の小さな見張り小屋のような所に住んでいた小屋に匿われたのです。そこでラハブから、…神が導かれるイスラエルの情報から、やがてエリコも、敗北すると町中が恐れて、「あなたがあ

③

の信じる神にすがりたい…」との申し出で、サルモンは、城壁伝いにロープで釣りおらされて、無事イスラエルの陣営に帰り着き、ラハブの言葉「町中・国中が、あのヨルダン川をせき止められた神が味方に付いているイスラエルが、攻めてくることを恐怖に感じており、戦意を失っている……」に、ヨシュアと民は勇気を得、更に、神が命じられたエリコ攻略の御計画の指示に、忠実に“毎日一回エリコの城壁の周りをまわり、7日目には7回回って、全部隊で、大声で勝利の叫びを挙げよ！”…の通り実行し、その大音声の後、堅固な城壁が崩壊し、突入して勝利を治めた。そのサルモンは、ヨシュアに申し出て、異邦人ではあるが、結婚させてほしいと…許しを得て異邦人だったラハブは、命を救われて、イスラエルの一員となった。

(ヨシュア記 6 章全体)

- ③ ラハブによってボアズが生まれ、ボアズにルツによってオベデが生まれ、オベデにエッサイが生まれ、
ベツレヘムに住むエリメクの家族が、何らかの事情で、住んでいたベツレヘムから、ヨルダン川東岸のモアブの地に移住したのです。その地でエリメクは死に、妻のナオミが二人の息子を育て、地で息子のキルヨンが、モアブ(異邦)の女性“ルツ”を娶り、生まれたのが、ダビデ王の祖父オベデが生まれ、となり、ダビデ王朝の基が築かれたのです。 *オベデ→エッサイ→ダビデ
ルツ記全体
- ④ ところが、これで主のご降誕の系図が安泰となるのかと思いきや、最も厳しい暗い影を落としたのが、このダビデの失敗でした。
*ダビデにウリヤの妻によって、ソロモンが生まれ…
ウリヤの妻(バテ・シェバ)→ソロモンが生まれる。
本文を一見して、これがイエス・キリストの系図に記載されている…

④

辛と言う、悲しいばかりの汚点は、いったい何なのでしょう。

Ⅱサムエル記 12章 1節～12章 24節

サタンは、アブラハム(紀元前17世紀ごろ)の家系に対して、それから500年に亘って、その家系に水を差す、攪乱を試みたのですが、その攪乱にこそ、神の救丞(救い)計画の、根幹となる筋書きとなったのです。

人間の失敗・サタンの攪乱・不純な出来事…人間の罪の営み…すなわち、神から離れた人の道が、汚れに満ちれば満ちるほど、主なる神はこれを悼み、深く悲しまれたのです。その中から、罪深い者をお見捨てにならず、そのまま受け入れるために摂られたのが、神御自ら、悼み苦しみ、矛盾(義なる神が罪人を受け入れる)に苦しまれながら、十字架上でのあの苦しみの叫びとなり、遂に捌きの“死”を、私たちに変わってお受けになられ、神の捌(サバキ)＝審判を、お受けになられたのです。

主イエス様の十字架上でのさげびを採録させていただきます。自らの過去の罪の現実を思いながら、この主の叫びを深く思い見ましょ。

ルカ福音書 23章 24節

父よ。彼らをお許してください。

彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。

マタイ福音書 27章45節・46節

敢えて、文語訳で記載させていただきます。

昼の12時より地の上あまねく暗くなりて、3時に及ぶ。

3時ごろイエス大声に叫びて

『エリ、エリ、レマ、サマクタニ。』と言ひ給う。

『わが神。わが神。なんぞ、我を捨て給いし。』との意なり。

此の主の叫びこそ、……ユダ・ペテロ・他の弟子達・祭司・パリサイ人・群衆・ローマの兵士・ピラト・ヘロデ…ダビデ・ユダ・ヤコブ・イサク・アブラハム・ノアの時代に滅ぼされた人類・カイン・エバ・アダム…そして、私達…今日までの全人類……の罪を一身に背負われた

メシヤ・主イエス・キリストの贖罪

(罪を身代わりに負われた)、苦しみの叫びなのです。クリスマスは、この創造世界最大の苦しみと孤独の中からの叫びであり、私たち(全人類)の救いの福音なのです。

クリスマスは、喜びの訪れである反面、神の御子の御受難の始まり(それは同時に、完全な救いが明らかになる時)となる時なのです。

ハレルヤ！・アーメン！！

クリスマスは、神の御計画の実現の始まりの日なのです。

